

平成 30 年度吹田市ケアネット実務者懇話会作業部会の報告について

(3) 多職種連携研修会

1 活動目的

医療・介護関係者等の多職種が共通の課題や状況を理解し、解決のプロセスを共有しながら課題解決手法を学び、さらに「顔の見える関係」等の一環として、医療・介護の関係者のネットワーク化も図る。

2 構成員

事務局：高齢福祉室、地域包括支援センター

作業部会員：医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関地域連携担当、居宅介護支援事業者、訪問看護事業者、サービス付高齢者向け住宅、吹田市健康医療部地域医療推進室

3 平成 30 年度の実施内容

テーマ	施設での看取り支援について	在宅での看取り支援について
日時	平成 31 年 (2019 年) 1 月 17 日 (木) 14 時～16 時	平成 31 年 (2019 年) 1 月 24 日 (木) 14 時～16 時 30 分
内容	<p>ア 実践報告 「施設での看取り支援について～看取りを通して伝えたいこと～」 報告者① 介護老人福祉施設 ちくりんの里 生活相談員 東本恵美氏 報告者② 認知症対応型共同生活介護 めいの家 施設長 宮崎以知子氏</p> <p>イ 施設での看取りを経験した家族のお話 (2 名)</p> <p>ウ 意見交流</p>	<p>ア グループワーク 事例①「自分の家族を自宅で看取ると決めた時に、あなたが、最初にすること」</p> <p>イ 在宅での看取りを経験した家族のお話 (1 名)</p> <p>ウ 講義 「アドバンス・ケア・プランニングと在宅での看取り支援」 講師 おきしろ在宅クリニック 管理者 医師 沖代奈央氏</p> <p>エ グループワーク 事例②「事例を通して専門職としてできること」</p>
参加人数	71 名	120 名

(1) 実施回数を増やしたこと

例年 1 回の開催だったが、100 名以上の申込みと、参加者の要望を踏まえ、今年度は 2 回の開催とした。今年度のメインテーマは「看取り」で、「施設での看取り」、「在宅での看取り」での研修とした。

(2) 看取り支援についての「交流会」、「事例検討」、「講演」、「ご家族のお話」などを行った。

今回は「当事者、ご家族の話」の協力を両日とも得られ、「貴重な発言を聞いて感謝」とのアンケート記載など、大変有益であったと回答する参加者が多かった。

2日間とも出席した作業部会員からは、「ご家族の話に心を揺れ動かされた。やはり当事者（本人やご家族）のお話、意見を聞くことは『私達、専門職の自己満足にならないように』と改めて大切だと思った」等の発言もあった。

「交流会」、「事例検討」の時間を設定することで、「顔の見える関係づくりにつながった。」とのアンケート結果や、開始時に見られた参加者の緊張した表情が、終了後は和やかな笑顔となり、名刺交換等もされているグループもあった。

作業部会で検討した事例は、「虚弱の進行により自宅で最期を迎える高齢者」とした。作業部会では「延命と救命の問題」「病院での看取りが90%を超えた中で、家族が在宅での看取りをイメージ出来ない。」「介護サービス従事者の中にも看取り支援が未経験の場合、看取り支援についてイメージが持ちにくいのでは。」等の意見が出た。そのため医師による「在宅での看取り支援とアドバンス・ケア・プランニング（以下、「ACP」と記す）についての講義」を企画した。アンケートの結果では、講義について「③理解できない」と答えた人はおらず、「①理解できた、②まあまあ理解できた」の回答がすべてであった。「初めてACPという言葉を知った」と記載した人が二人おり、現在、「ACP」の大切さ、概念は拡がりつつあるが、医療・介護関係者においてもまだ知らない人が存在する現実を真摯に受け止め、市民も含め「ACP」への理解促進に努める必要があると考える。

4 作業部会について

第1回 平成30年 7月26日（木）
臨時 平成30年10月 3日（金）
第2回 平成30年11月29日（木）
臨時 平成31年 1月11日（金）
第3回 平成31年 2月 6日（水）

5 平成31年度の活動方針

テーマ：退院時支援
開催回数：2回開催を予定
開催内容：作業部会で検討予定